

常磐文藝

喬木の 飯村 関舟

倒壊は 歩行を遮つて 除けようともせず 俺の体軀は 人間よ、偉大であらう。 此の幹木は 大自然に生れ出た 土や草に 抱擁されて 暢々と 育まれ来る 俺、風雨や粉雪に 迫害されつゝも 屈せず法ます 生延を保つて居た 雨霽れの 或は 人間の騒音な 聲がした 何かと根本を 覗くと ギツ／＼と 鋸を根元に入れて 切斷をはじめた 呀ッと呼ぶ瞬間 俺、偉大な体軀は メキ／＼と 倒れた 俺は人間を恨む 俺は人間の歩行を 妨害してやる 人間の兇器の前には 勝ち得ぬが 人間には惨敗はせぬ 俺、幾十年の 苦心の生延は 今ムザ／＼に 葬られた (完)

謹告

今回弊店小間物部を渡邊帽子店に譲渡し且つ銃砲火薬店は渡邊貫一氏に一切の經營を委任仕候て左記の場所に移居を卜し候間今後共何分御蟲負の程幾重にも懇願仕度此段辱知諸彦に謹告仕候 平町一丁目キ屋號

大和田牛音

轉居先 東京府下瀧の川町宇瀧の川

毛糸

經濟な御手編物は 新時代の要求なり 品質優等廉賣で誇るは 弊店毛糸部の特徴 今年流行色を集めたる 弊店へ是非御用命を 平町三丁目(電話三八番)

三井吳服店

毛糸部

製材機械、人魚印丸鋸

自動注油メタル、プーリー、ゴムベルト、バラタベルト在庫

佐藤鐵工所

電話三六二番

社告

初冬の候彌々御清祥奉賀上候陳者今回正喜社と稱する廣告取次業を創業弊社關係の廣告掲載に關し貴意を得たるやに仄致し候處右は弊社絶對關係無之且つ正喜社理由の廣告は一切掲載致さず候に付右に御諒知の上倍舊の御後援賜はり度懇願候也

新報社

磐城日々新聞社

磐城新聞社

常磐毎日新聞社

毒氣ある身體にて 困りの御方は 毒退丸の効能を 試みられよ!!! 効能としては梅毒、痔病、胎毒、淋病、消渴、癩麻、質斯等凡て毒氣ある身體に特效あり 石城部内郷村小島 毒退丸販賣本舖 山下重愛堂 一其他全國到處 一に特約店あり

看護婦派の求めに應ず

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

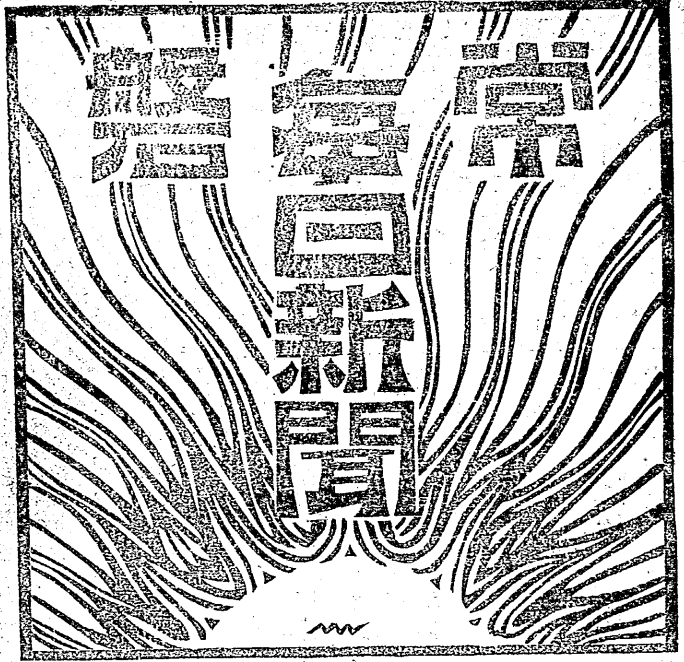
丸登株式會社

平町田町電話三三三番 川添房二郎

株式賣買中値

左記の値段は本日標準値に付御用の節は御問合願候 銘柄 拂込 時價

Table with 2 columns: Company Name and Price. Includes entries like 磐城銀行 (500), 平銀行 (500), 磐城實業 (200), etc.



刊夕日三月二十



私ノ川崎論

獨乙文豪のニイチエと川崎とを比較し對照すること は、或意味に於て川崎を思ふも知れぬ、或はさうか 以上どつかに共通した人



生觀や思想を包蔵してゐるものと看做しても暴言では無からう。であるから川崎を論ずるに當りニイチエの思想の概要を説き、川崎との類似點を擧げて見やうかと思ふ、ニイチエは強烈な自我を中心とした個人主義者である、ルツソーは『自然に歸れ!』と唱へたが、ニイチエは『本能に歸れ!』と嘯いた、 行爲の中心は本能にある、人は須らく本能の命する處によつて生活すべきである、ニイチエは先づ斯う説いた。そして此の立場から從來の道德即ち卑屈な、謙遜

價定 一部金貳錢 月極 二限り一ヶ月卅錢 料告廣 五號十三字詰 一行五十錢 日刊休 曜 大祭 祝日の翌日 所刷印 福島縣石城郡平町 田町十六番地 磐城新聞社印刷部 發行兼 編輯人 川崎 文治 印刷人 所行發 福島縣石城郡平町 字長橋町川五番地 常磐毎日新聞社

新日本建設を標榜 全国の青年を糾合し

政治団体を組織すべく 本日發起人会を開會す

平町にも論陣を張る

區長、學務委員、其他合計七十九名を表彰した

常磐炭値上

噸當一圓以上 貨車配給が圓満を缺いた爲

めに各種の物資輸送上多大の打撃を蒙つたが殊に常磐

燃ゆる嫉妬心から 舌を切つて紅に染る

強度のヒステリーに冒されて ハサミを握り締め

平町字六丁目鍛冶職嶋山清の妻たにの(二二)才夫に對する嫉妬心から強度のヒステリーに冒され一日午後五時頃自宅座敷にて鉄を以つて自分の舌を切り血に染つて苦悶中家人に發見され醫師の應急手當を受けた

憤つて放火

料理店物置へ 昨午午前二時半頃石城郡湯本町料理店志賀ツネ方物置から發火大事に至らず消し止めたが同郡磐崎村小野田炭坑坑夫伊達郡五十澤村生れ佐藤兵五郎(三四)が登樓し酌婦にフられたのを憤り放火せるものと判明中署に引致取調中

共用栓凍る

今朝断水同様 本朝平町の水道共用栓は寒氣の厳しい爲めに凍り付いて一般は恰も断水同様の憂

平町入營送別

十五日開催す 平町入營壯丁の送別會は来る十五日午前十時から開催の豫定であるが會場其他具休事項は區長會で協議の上決定する由因に入營者左の如くである

平區長協議

夜警ご入營兵 平町區長會は明四日午前十時から町會議事堂に招集夜

年賀郵便を 廢し度い

森平局長の談 今回の震災に依り遞信省並に印刷局焼失の結果郵便切手及び葉書の貯蔵を失つたのみならず印刷能力も従前の如くでないから例年實施して来た年賀郵便の特別扱制度を休止し一面現下の時局に鑑み儉素實質の美風を涵養するの一端とし年賀交換廢止獎勵方を遞信中から示達されたが是れが普及徹底すれば當局も事務の緩和を圖る事が出来る

不平受付

久保町の坂 久保町の坂 道は荷馬車の爲めに散々敷され通行上に困難を感ずる計りでなく荷馬車自身も困つて居る様です、修繕を望みます

不平受付

伊坂町長の答 町でも勿論修繕は急ぎますが署長とも打合せの上荷馬車軌組合からも修繕させ度ひと思つて居ます

眞性慾問

子宮の眞性慾問玉の

子宮の前に述べた如く筋肉で作られた縫目のないヘンな袋である、母親を尊稱してお袋様といふのはこれから來てるのかも知れぬ、此の袋の内面は粘膜を以つて被はれて居る、喇叭管から月に一度天降つて來る卵細胞のために、安住の座をしつらへる、折角の卵が不運にして然るべき配遇し運まれたる精蟲に巡り合はない時には、人間の卵のオールドミスは假りの宿を立ち出でて放浪の旅へて出行かねばならぬ、其の行手には何等の光明もない。子宮の内面は血を以つて洗ひ浄められ、四週間に一度宛他の新しい卵細胞が希望に満ちて迎へられる思ふに兩方の卵巢を合せて約十萬の卵細胞のうち、遂よく生熟して子宮に送られるもの僅に二三百、而して首尾よく配遇を得て完全な人間となり得るものは僅に二、三多くて十に及ぶ事は稀である、かくて人生行路難は既に未生前からの約束である(續)

眞性慾問

子宮の眞性慾問玉の

平町人事

出生
△五丁目 本郷より吉三女愛

婚姻
△栃木縣下都賀郡栃木町毛塚幸司(二八)材木町横川フキヨ(二四)

△廣島縣沼隈郡新町坂井秀三(三四)鍛冶町石森やす(二九)

▲死亡
△四軒町 本多忠英(五七)

平町人事

出生
△五丁目 本郷より吉三女愛

婚姻
△栃木縣下都賀郡栃木町毛塚幸司(二八)材木町横川フキヨ(二四)

△廣島縣沼隈郡新町坂井秀三(三四)鍛冶町石森やす(二九)

▲死亡
△四軒町 本多忠英(五七)

平町人事

出生
△五丁目 本郷より吉三女愛

婚姻
△栃木縣下都賀郡栃木町毛塚幸司(二八)材木町横川フキヨ(二四)

△廣島縣沼隈郡新町坂井秀三(三四)鍛冶町石森やす(二九)

▲死亡
△四軒町 本多忠英(五七)

常磐片々

全国の青年を糾合し政治団体を組織するの運動東都に起る

青年奮起の秋、是非これが達成を期さん

成ると成らざるは青年の力のパロメータ

配車困難は炭礦渣かせかど思つたら結局値上需要者困窮を來すの元となつた

酌婦にフられて放火、徹底

常磐炭値上

噸當一圓以上
貨車配給が圓満を缺いた爲めに各種の物資輸送上多大の打撃を蒙つたが殊に常磐

燃ゆる嫉妬心から 舌を切つて紅に染る

強度のヒステリーに冒されて
ハサミを握り締め

憤つて放火

料理店物置へ
昨午午前二時半頃石城郡湯本町料理店志賀ツネ方物置から發火大事に至らず消し止めたが同郡磐崎村小野田炭坑坑夫伊達郡五十澤村生れ佐藤兵五郎(三四)が登樓し酌婦にフられたのを憤り放火せるものと判明中署に引致取調中

共用栓凍る

今朝断水同様
本朝平町の水道共用栓は寒氣の厳しい爲めに凍り付いて一般は恰も断水同様の憂

平町入營送別

十五日開催す
平町入營壯丁の送別會は来る十五日午前十時から開催の豫定であるが會場其他具休事項は區長會で協議の上決定する由因に入營者左の如くである

平區長協議

夜警ご入營兵
平町區長會は明四日午前十時から町會議事堂に招集夜